

製造業の倒産、 過去 10 年間で最多 負債総額は 4 番目の水準

『食料品・飼料・飲料製造業』が 31 件で最多

九州・沖縄地区・「製造業」倒産動向調査(2024 年度)



本件照会先

秋山 進（調査担当）
帝国データバンク
福岡支店
092-738-7779(直通)
tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/05/12

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2024 年度の九州・沖縄地区製造業の倒産件数は 74 件で、前年度を 15 件上回り、3 年連続で増加し、過去 10 年間で最多を更新した。価格転嫁が進まないなか、原材料、人件費、光熱費などの負担が増加、ゼロゼロ融資などの返済負担も重く、引き続き製造業の倒産は高水準で推移するものとみられる。

帝国データバンク福岡支店は、九州・沖縄地区の「製造業」の倒産発生状況について調査・分析を行った

集計期間:2015 年 4 月～2025 年 3 月まで

集計対象:負債 1,000 万円以上・法的整理による倒産

九州・沖縄地区製造業の倒産、過去 10 年間で最多

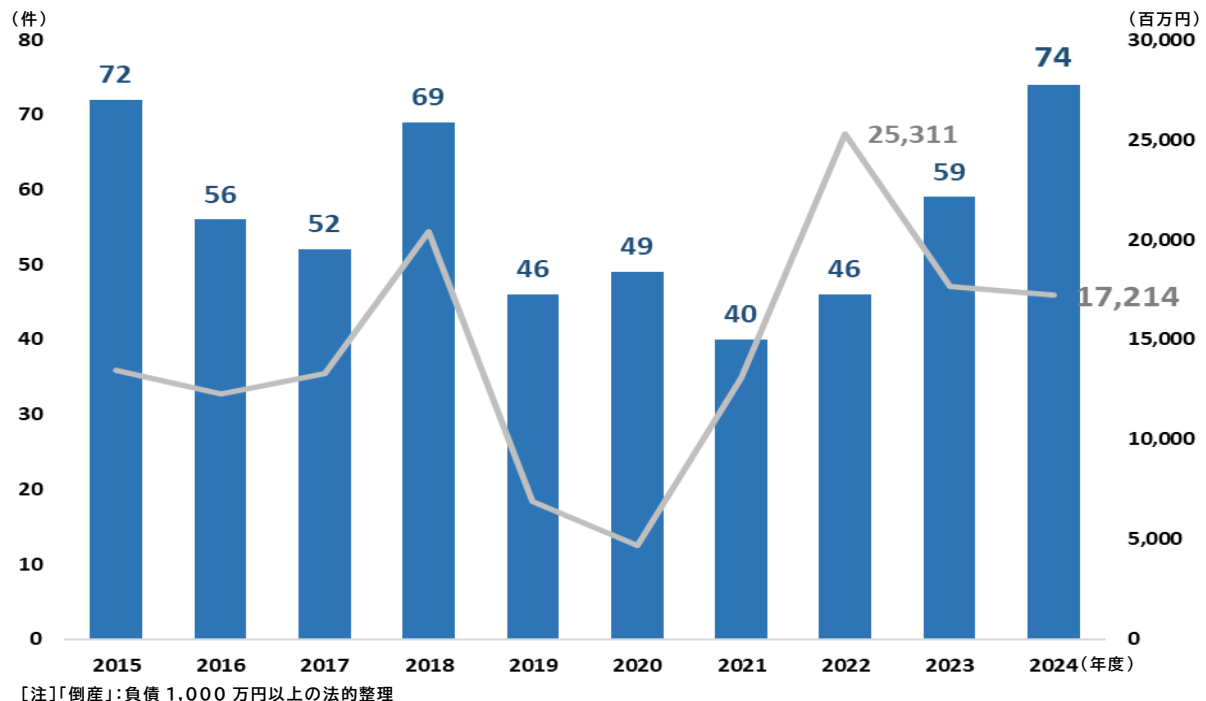
九州・沖縄地区の製造業の倒産が、2024 年度は 74 件となり、過去 10 年間で最も多かった 2015 年度の 72 件を上回り、最多を更新した。

負債総額は、172 億 1,400 万円となり、過去 10 年間では、最も多かった 2022 年度の 253 億 1,100 万円、2018 年度(203 億 9,400 万円)、2023 年度(176 億 4,600 万円)に次ぐ 4 番目の高水準となった。

業種別にみると、『食料品・飼料・飲料製造業』の 31 件(前年度 20 件)が最も多く、唯一 30 件を超え 2 けたとなった。『出版・印刷・同関連産業』9 件(同 6 件)、『鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業』7 件(同 5 件)、『その他製造業』5 件(同 3 件)、『木材・木製品製造業』4 件(同 2 件)が続いた。さらに細かくみていくと、辛子めんたいこ、乾物、養殖などの「その他の水産食料品製造業」6 件(同 5 件)、パンフレット、チラシ、ポスターなどの「印刷業」6 件(同 5 件)が同数でならび、こんにゃく、給食受託などの「他に分類されない食料品製造業」4 件(同 2 件)、「製缶板金業」4 件(同 0 件)、「生菓子製造業」3 件(同 1 件)、「出版業」3 件(同 1 件)が続いた。

九州企業の価格転嫁率が38.6%ⁱにとどまるなど、原材料、人件費、光熱費などの負担が増加するなか、依然 6 割以上が企業負担となっている。加えて、ゼロゼロ融資などの返済負担も重く、今後も、人材確保・定着のため、人件費の上昇も見込まれることから、引き続き製造業の倒産は高水準で推移するものとみられる。

九州沖縄地区 製造業倒産件数・負債額推移



ⁱ 帝国データバンク「九州企業の価格転嫁に関する実態調査(2025 年 2 月)」(2025 年 3 月 6 日発表)